

有機技術通信

トピックス

- 有機の意味
- 第1回研究会のお知らせ
- 有機農業技術会議ウェブサイトのご紹介
- 賛助会員募集のご案内

www.ofrc.net

農を変えたい！全国運動
有機農業技術会議 事務局
発行責任者：藤田 正雄

有機の意味 西村和雄（技術会議代表・京都大学）

第1回総合研究会を開催するに当たって、有機農業について、改めて考えてみた。有機農業推進法が出来たこともあり、ようやく我々にも追い風が、微風ではあるが、吹きかけてきたようだ。ただし、我々にとっては馥郁（ふくいく）たる微風ではあっても、その芳しさがいまだに理解できていないような世間ではある。

有機という言葉は、古いと言われてきた。環境保全型農業という、理解しがたい奇妙な述語が、有機農業にのしかかろうとしているが、そんな生やさしい言葉で語れるほど、有機農業は浅いものではない。どうも、有機農業は、官許保全型農業いや環境保全型農業のカテゴリーに該当しそうな雲行きだが、決してそうではあり得ない。

有機という言葉は、日本有機農業研究会が創設されたときに、一楽照雄氏が「オーガニックの訳は、有機でいいだろうか？」と、当時存命だった、黒澤西蔵氏に聞かれたそうである。「いい言葉ですねえ、有機という字は返り点を付けて、とき（機）あ（有）ルベシ、と読むんです」そう答えられたのである。機（とき）有（あ）ルベシとは、すべての存在には、生きる

べき時期・時節があるのだ。命という存在は、機（とき）無くしてありえない。という意味になろうか。

機有るべし。それこそが我々、有機農業に携わるものの合い言葉である。そして命を育てるのが、有機農業である。作物だけを育てるのではない。土も生きている生命の複合体と見なすべき存在である。その土を健康に育て、健康な土に育つ作物こそが、生き生きとして健康に満ちあふれ、虫や病害を寄せ付けない強靱さを自ら創り出す。

我々人もまた、生命複合体の構成員であって、共に生きる道を歩むことが、有機農業であり、我々の生き方でもある。したがって、環境保全型農業の範疇で語れるほど、有機農業は小さな存在ではない。奥深い、大きな宇宙をも包含するだけの容量を持っている。その宇宙を有機JASのような小賢しいワザでもって、事たれりとするのは、「農」という、命を育むワザを知らない、儒者の言葉でしかない。

さあ、有機農業に携わる諸氏の方々、命を育むためのワザを磨こうではないか。

第1回 研究会

～有機農業の採種と育種技術を考える～

今回は栽培作物の育種と採種について開催します。生井兵治さん（元筑波大教授）より多様性に富んだ植物の生命現象や有機農業の育種技術、および遺伝子組み換えの危険性について、中川原敏雄さん（自然農法国際研究開発センター）より自家採種技術とそれを支援する取り組みについて、さらに、実施農家からは育種・採種の実際を紹介していただきます。また、参加者とともに、有機農業の育種と採種について活発な意見交換を予定しています。皆様のご参加をお待ちしています。

日時 2007年6月16日（土）13:30～17:00
場所 茨城大学農学部 こぶし会館2階研修室
〒300-0393 茨城県阿見町中央3-21-1
・東京駅八重洲南口発江戸崎行き
東京医大病院前（バス約90分）
・JR常磐線土浦駅西口 阿見中央公民館行
東京医大病院前（バス約20分）
連絡先 有機農業技術会議 事務局
E-mail office@ofrc.net
Fax 0263-92-6808
会費 1,000円（当日支払）
※人数把握のため、事前にご一報願います。

有機農業技術会議ウェブサイトのご紹介

有機農業技術会議のウェブサイト（ホームページ）がオープンしました。

www.ofrc.net

主な掲載内容は以下のようになっています。

- ◆ 当会議による研究会情報
- ◆ 掲示板による技術交流のための場の提供
- ◆ 有機農業関連書籍情報
- ◆ 有機農業実習施設のご案内 など



書籍紹介画面

研究会の情報ではPDF形式で研究会テキストがダウンロードできたり、書籍のご案内では表紙画像を掲載しクリックひとつでAmazon.co.jpに接続して書籍内容やカスタマーレビューが見られたりと、様々な情報を提供していく予定です。

目玉となるのがフォーラム型掲示板システムによる交流の場の提供です。「土から口まで相談室(Q&A)」は皆様の質問を技術会議理事はもちろん、皆様方で解決していく相互扶助な場です。技術会議の基本方針の一つである「さまざまな理論はすべて仮説とし絶対化しない」を守りながら、一つの質問に関して様々な立

場や経験をお持ちの方から様々な意見が寄せられることで、現実的な技術理論が形成されると考えています。皆様のご参加をお待ちしております。



掲示板画面

その他にも、質問形式でない提案・意見交換の場もあります。また検索機能も充実しています。どなたでも自由に書きこめ、またユーザー登録すれば所在地情報などの登録も可能で、ご意見の信頼性や検索しやすさなどが向上します。

全国運動活動の一環として広範囲な意見交換をするため、積極的にインターネットを活用していく予定です。掲載情報のご提案やリンクのご希望なども歓迎します。皆様のアクセスを心よりお待ちしております。

『有機農業技術確立のために』

第1回総合研究会資料

一冊1,000円で頒布中

お求めは技術会議事務局まで

賛助会員募集のご案内

有機農業技術会議では、当会議の趣旨に賛同して下さる方を対象に賛助会員制度を設けております。会員の方々は、電子メールによる機関誌や研究会などのご案内、研究会・研修会などへの割引参加、総合研究会への参加、ご意見・ご要望の反映などのサービスも予定しています。この機会に是非お申込みください。

お申し込みは、当会議発行の第1回総合研究会資料『有機農業技術確立のために』P.58の用紙をご利用ください。また当会議ウェブサイトwww.ofrc.netのホーム→入会案内からも用紙がダウンロードできます。皆様のご入会をお待ちしております。

有機農業技術会議事務局

〒390-1401

長野県東筑摩郡波田町5632

(財) 自然農法国際研究

開発センター

農業試験場 内

FAX:0263-92-6808

E-mail: office@ofrc.net

Website: www.ofrc.net